

テーマ「豪雨災害への対応について」における主な意見

意見：災害が激甚化する中、市や議会はもっと意識を強く持つべきだ。また、協定避難所との合同防災訓練を実施してほしい。

要望：湯の谷西区内で危険箇所指定されている場所と違う場所でかけ崩れが発生した。県が調査し指定した想定には限界があるため、市が指摘し迅速に改める体制を作してほしい。

要望：市長と語る会で聞いた県が行った震度6強の警固断層地震発生シミュレーションによると、家屋の全壊1千戸、火災の発生8件との説明であったが火災件数の少なさに疑問を感じる。市と議会は災害への対策をもっと重要視してほしい。

要望：水城台区公民館は災害時の緊急避難所に指定されているが同公民館は集会所であって大きな災害に耐えうる施設ではない。被災者は避難するよりも自宅に留まる方が安全だと判断するだろう。震度7にも耐えうる頑強な公民館を建設してほしい。

要望：防災に関する市の出前講座の際、災害時の水の備蓄量と保管場所を尋ねたところ市役所に一定程度あるとの事だった。食料はともかく、最低限水だけで中学校区ごとに3日分を備蓄してほしい。

要望：北朝鮮が本国に向けて弾道ミサイルを発射した場合、海上自衛隊、陸上自衛隊の迎撃によりミサイルの破片が本市に飛来する可能性があるため市に対して対応を確認してほしい。

意見：吉松地域と接する御笠川の改修工事は、まだ完全に終わっていないように思う。県に改修を急ぐよう依頼してほしい。
また、地域として、避難訓練をしているが、どうしても日中にしか実施できず、夜間に起こった場合の意識づけが必要だと思っている。
